

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

# Kokolab.

隔月刊ココラボ通信

NO. 87

2020.October

建築例 藤枝市 / 『続・rough [ラブ] の家』

## 暮らしながら育つ木の家

ココラボのメンテナンス

「気分も上がる木のメンテナンス」

7年目の外観

軒裏や格子は新築時とあまり変わらないが、外壁の杉板は塗装が少し落ちてきた。息子さんも車を運転するようになり、雨に濡れない車庫が活躍している。



新築時の外観  
2台の車庫が特徴の外観。Oさんが一枚一枚丁寧に塗装した外壁がとても綺麗。



た以上に掛かる事や、ガラストップのガスコンロは使用後に油の掃除が少し大変と話していました。ニョキっと伸びた水栓は使いやすい、上部のパネのおかげで楽に操作できるようです。日々の家事に加え、お教室の試作や新メニュー開発など、家にいる時間のほとんどをキッチンとリビングで過ごす奥さん。好きな物や空間に囲まれ、幸せな時間ですと話してくれました。

『フフの家』の外壁は、すべて杉板でつくられ、新築時にOさんが一枚一枚塗装し、思い出に残る外壁になりました。外部の木は内部に比べて経年変化が早く、塗料も場所によっては落ちてしまったと聞きました。道路側の北面は新築時のままですが、西面は数年前に一度自分で塗り直しを行ったようです。写真を見ると、新築時との違いがよくわかります。格子や軒裏はそれほど変化を感じませんが、雨が当たる外壁部分は色が薄くなっている所が見てわかります。当社の展示場である「こらぼの家」の外壁も、雨と日差しがよく当たる西面は色の変化を感じます。木の外壁は時間と共に変化し、塗装が落ちたり色が変化したりしますが、コロラボで使用している外壁材は杉の赤身のみを使用しており、色が変化しても耐久性には問題ありません。こまめに塗装して綺麗に保つことも出来ますが、経年変化として受け入れる事で、木の表情を楽しむ事も出来ると思っています。

# 暮らしながら育つ木の家

## 建築例

藤枝市 / 『続・rough「ラフ」の家』

文・写真 / コロラボ 山崎健治

ダイニングからキッチンを見る  
パン教室も行っているダイニングキッチン、調理器具や道具の収納を考えた、作業しやすいキッチン考えた。



通信50号で紹介した『rough「ラフ」の家』と題したOさんの住まいが早いもので7年の月日が経過しました。一風変わったタイトルと、個性的な素材が印象的で、コロラボ通信を以前から読んでいただいている方の中には憶えている方もいると思います。Oさんと夫婦とは完成後もちょくちょくお会いし、また、奥さんが数年前から「こらぼの家」でパン教室を行っている事などもあり、今回、無理を言って数年経過した木の家の取材をさせていただきました。

Oさんの家は、平成25年11月に完成しました。当初、二人のお子さんは、中学生と小学生で、共にサッカーに夢中の子供たちでした。食べ盛りの二人のお子さん、お料理好きの奥さんと言う事で、キッチンのプランや設備、調理道具などの収納場所についてじっくりと打合せした事を覚えています。家が出来たら自宅でもパン教室や料理教室をしたいという奥さんの夢も重なり、広めの作業台や、調理している手元が見える配置、数人がキッチンに出入りしやすいようにした、回遊動線のプランなどが特徴的なキッチンとなりました。Oさんのキッチンには、一般の家庭ではあまり見ない設備が幾つかあります。大きなガスオーブンやお鍋も入る食洗機、ガスコンロや水栓も特徴的です。実際に使ってみて、大きな食洗機はとても便利で使いやすいが、メーカーが近くに無いのでメンテナンスコストが思っ



**7年目の玄関**

新築時から大きな変化は無いが、玄関収納や床板に艶が増し、どっしりとした印象になってきた。天井に設けた天窓が明るくて好評。



**新築時の玄関**

色ムラのある窯変の敷瓦が印象的。奥さんのお父さんが苦労して貼ってくれた。使われる毎に艶が増し、心配した滑りも問題なし。



**新築時のリビングダイニング**

新築時は、柿渋を塗装した天井に比べて、床や柱、建具の色が明るい。柿渋はあつという間に濃い色に変化した。その後は大きな変化がない。



**7年目のリビングダイニング**

新築時に比べ、床やテーブルの木に加え、真鍮のペンダント照明や、革の椅子の色が濃くなり全体がまとまってきた。

**時間と共に素材が馴染む**

〇さんのお宅は新築時に天井と構造材に柿渋を塗りました。柿渋は防腐効果がある塗料として古来から、様々な所で利用されている塗料ですが、〇さんは柿渋の色に着目し、新築時の真新しい木の色ではなく、少し馴染んだ印象を持たせるために柿渋を塗る事を選択しました。写真でもわかるように、新築時から天井と梁の色が柿渋色で塗られ、床や一部の柱、テーブルなどはまだ明るい木の色が見えます。建具やペンダント照明もまだ素材そのものの色で、明るい印象の部屋になっています。7年経過し、天井の柿渋は大きな変化がなく、床やテーブルはだんだんと色濃く変化してきました。〇さんが選んだ革のダイニングチェアはだいぶ色が濃くなり、風格と共に柿渋色に近くなって来ました。床は山桜を選択し、新築時も艶がありましたが、時間の経過とともに色艶が増し、全体的に馴染んで来たように見えます。写真では伝わりにくいですが、新築時はそれぞれの木や革、金属などの、ひとつひとつの素材が個々の風合いを持ち主張していましたが、時間が経つにつれ、全体がまとまり、一体感が出てきたように感じます。毎日使われる事で傷や汚れもありますが、それぞれ無垢の本物でつくられたものは古びた感じにはならず、だんだんと味わいを増し、より良い雰囲気になってきたと思います。

育ってきたと思います。

リビングやダイニングに比べ、北側にある玄関は新築時と比べて大きな変化を感じませんでした。天窓があるとはいえ、日差しが入り込む事が少なく、まだまだ新築時の印象が残ります。変化を感じたのは玄関床に貼った窯変の敷瓦で、よく使われる場所がツヤツヤになっていました。この敷瓦はタイ尔職人の奥さんのお父さんが貼ってくれたもので、一枚一枚微妙に大きさが違うので、とても苦労をされて貼っていたのを覚えています。設計時は雨の日の滑りを気にしましたが、外のポーチでも滑る事は無く安心して歩く事が出来るようです。釉薬の掛かったタイルと違って燻された瓦なので、表面の微妙な凸凹が滑り止めになっているのだと思います。

素材や空間の違いで色などの変化は違いますが、どの部屋、場所も新築時とは違った雰囲気を感じました。新築時は明るく優しい雰囲気でしたが、7年経過した現在は、どっしりと落ち着きのある雰囲気になってきたと思います。



家族みんなが集まるリビングは、家族みんなが大好きな空間。これからも大切な時が流れ、心と木の家に刻まれていくだろう。

## あれから7年、毎日使われることで風格が増し、どの部屋も場所も生き生きしている。

本物の素材にこだわり、細部まで時間を掛けて検討した。自分たちの選択が良かったのか？ 少し不安になったこともあったけど、今とても満足している。家族の思いも浸み込んで、掛け替えのない我が家に育っている。



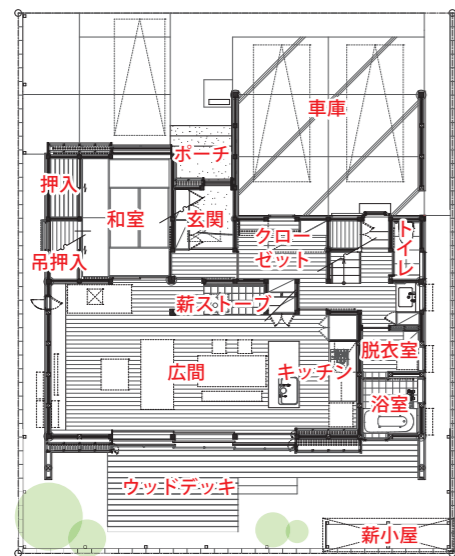
ケンズメタルワークさんのクッキングストーブ。炉が上にあるので天板の火力が強い。料理を煮込む事もしばしば。下段のオープンも活躍している。



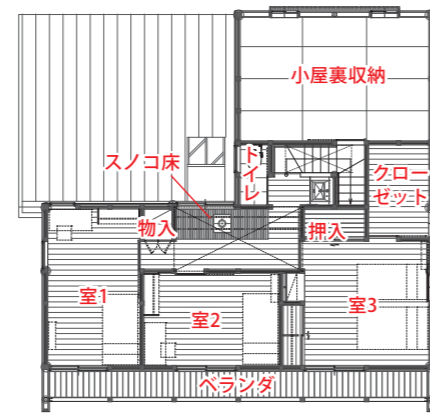
キッチンに貼ったこげ茶のタイル。油が飛んで汚れる事もあるが、ウタマロクリーナーでさっと落ちる。



無垢のタモ材とアイアンで制作したキッチン扉。時間と共に色艶が増し、部屋全体と馴染んでいる。



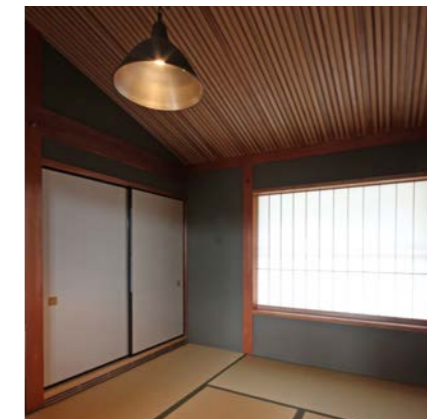
1F 敷地平面図



2F 平面図



玄関内部と同じ敷瓦で作った玄関ポーチ。杉板の外壁やアイアン手摺、和室の貫戸などと組み合わせ、Oさんらしい個性的な玄関。



1階の和室は神聖な場所なのか？ あまり利用していないとか。格子天井や土壁、照明器具にも個性があり、独特の雰囲気を感じる。



玄関床に貼った窯変の敷瓦、色ムラが個性的で玄関の顔になっている。よく歩く所がツヤツヤになり光ってきた。

### 仕様内容

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 家族構成  | 家族4人                         |
| 敷地面積  | 250.72㎡                      |
| 建築面積  | 137.69㎡                      |
| 延べ床面積 | 177.24㎡                      |
| 構法    | 落とし込み板壁構法 2階建て               |
| 屋根    | ガルバリウム鋼板タテハゼ葺き               |
| 外壁    | 杉赤身 大和貼(目板押え)<br>保護塗料(オスモ)塗布 |
| 竣工    | 平成25年11月<br>(令和2年10月現在 築7年)  |

と共に古さを感じ、新しいものが欲しくなったりします。本物の素材とは何か？ とは、正解が無いかも知れませんが、耐久性があり、容易に壊れたり崩れたりしないもの、そして、人の思いや時間を受け入れる事が出来る素材、という事だと思います。今回改めてOさんのお宅を訪ねてみて、どの部屋も場所も、生き生きとした雰囲気を感じました。きっと毎日愛情を込めて丁寧に使い、木の家全てに家族の思いが染み込んでいくからだと思います。まだまだ暮らして7年、これからも木の家は家族と共に育ち、今以上に味わいを増した住まいになっていくと思います。今後も『木の家』のこれからを楽しみたいと思います。

## 木の家は、ガシガシ使われて育つ家

家だけに限った事では無いですが、新しいものは心がときめき、なるべく丁寧に使いたいと思う方が多いと思います。傷を付けないように、汚れないように、子供がいたずらをしたらつい怒ってしまいがちですが、本物の素材でつくった木の家は、傷がついても、少しくらい汚れても、古びたり価値が下がったりするものではありません。毎日歩く床、開け閉めする建具、座る椅子、どれも使われることで味わいを増し、だんだんと家族の歴史を刻んでいきます。床や柱などは新築の時には無かった艶が増し、建具や家具はだんだんと濃く深みのある色に変化していきます。真鍮製の金具や革製の椅子もどんどん重厚な色に。今回ご紹介させていただいたOさんの住まいは、まさに経年変化を楽しむ家として建築しました。それは、私以上にOさんご夫婦の考え方であり、新築当初より、新しいものよりも長く使われたものに魅力を感じ、少しずつ変化していく過程を楽しみたいと話していました。本物の素材というものは不思議なもので、毎日使っているもの、例えばお箸やお椀など、だんだんと色や形が変化しても案外気にせず使っているし、逆に馴染んでくると思います。ですが、見た目の装飾だけで選んだものは馴染まず時間

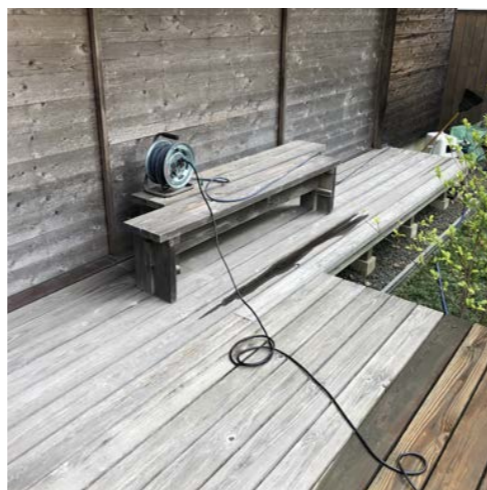
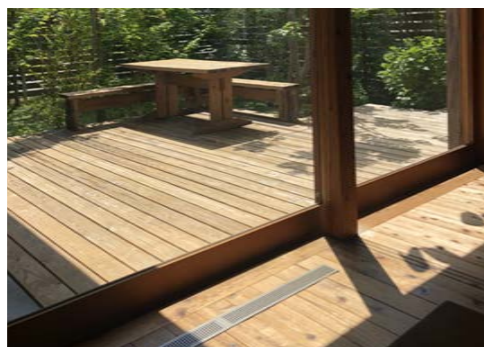
## ウッドデッキのメンテナンス

コロラボでは、杉の赤身(厚さ4cm)を使ってウッドデッキをつくります。隙間を開けて乾きを促進させたり、ビスを下からとめたりと長持ちさせる工夫をしていますが、時間と共に表面が黒ずんできます。これは、表面の汚れや、雨と紫外線による経年変化で、痛んでいるわけではありません。ウッドデッキの表面だけが変色し、木の内部は問題ないので、洗うことで綺麗な状態になります。今回はコロラボ山崎が毎年行っているお掃除方法をご紹介します。



水洗いして一日経過。天気も良くあつという間に乾き、木の色が蘇った感じ。テーブルもベンチも洗い、新築時と同じ…とはいかないが、とても綺麗になって満足。

室内の床と見比べてみても変わらないほどの色になった。デッキが綺麗になると気分上がり、家が明るくなった感じ。



雨と日差しが良く当たる木部はだんだんと鼠色になっていく。色が変わっても木の痛みは少なく、水洗いするだけで案外綺麗になる。



一年に一度、デッキブラシで水洗い。今年は高圧洗浄機で洗ってみたら汚れがどんどん落ちていく。専用のブラシ付きノズルを使って、家族で交代しながら一枚一枚洗った。

## 浴室木部のメンテナンス

ウッドデッキに続いて気になるのが浴室の天井や壁の木だと思います。青森ヒバやサワラなど、耐水性に優れた木材を使用し、毎日気持ちよく香りがいいと喜んでいただくことが多いお風呂ですが、シャワー付近や扉枠などに少し黒ずみが入ることがあります。今回は、築7年目のOさんのお宅の浴室のメンテナンスを行いつつお掃除方法をお伝えしたいと思います。



写真ではわかりにくいですが、窓枠の内側にポツポツと黒い点が出ていたので、カビ取り剤(ミヤキ:ノーベル)を塗った。



カビ取り剤は水で3倍から5倍に薄めて使い刷毛で塗る。塗ってから数時間経つと効果が現れ黒い点が薄い茶色に変わり、同じように何度か塗ると綺麗になる。綺麗になったら水拭きを忘れずに。

## コロラボのメンテナンス



15年経過したウッドデッキ



「ラフの家」  
築7年の木のお風呂

# 気分も上がる 木のメンテナンス

みなさんの持っている木のイメージって様々だと思いますが、手入れが大変、水に濡れると腐る、長持ちしないと思っっている方も多いと思います。木は優しい肌ざわりで香りも良く、室内の調湿作用もある優れた材料ですが、樹種の種類や使い方の次第で傷んだり変色したりすることも事実です。木の家ではたくさんのお風呂を使用し、構造材から天井や床、壁などに使う板材をはじめ、コロラボでは軒裏や外壁、ウッドデッキにも木材を使っています。同じ木材ですが、室内と室外では使用する樹種や部位を変え、外部には耐久性に優れた木材を使い、塗料を塗らないと腐ってしまうと思う方もいますが、大切なのは樹種の種類、そして水に濡れてもすぐに乾くように使う事だと考えています。保護塗料は「アクリル」程度と考えると、主に綺麗な色を長持ちさせたい時に使います。保護塗料は時間の経過と共に色落ちしたり黒ずんだりしてきます。木の表面に膜を作る塗料はあまりお勧め出来ず、塗料が剥がれて見た目にも悪い印象になり、割れ目などから水が侵入すると木の乾きを悪くして早めに傷んでしまいます。保護塗料は浸透タイプを選択し、5年程度で塗り直していくのが良いと思います。ウッドデッキにも保護塗料を塗りますか? とよく聞かれますが、コロラボでは耐久性の高い杉の赤身を使用し、無塗装での使用をお勧めしています。ウッドデッキは素足で使ってもらいたので、塗料が剥がれて足の裏に付くのも嫌だし、歩くことで塗料が早めに剥がれ、見た目にもあまり良くありません。このように、建築時の木材選びや保護塗料でも耐久性が変わりますが、一般の方には樹種や保護塗料の選択は難しいため、設計士や建築業者などの専門家に任せるとして、生活の中でちょっとしたお掃除や手入れでも綺麗に長持ちさせる事ができます。今回は、木のメンテナンスとして、ウッドデッキと木のお風呂について特集しました。正しい知識を持てば、木がもっと身近に感じられ、木と共に気持ちの良い暮らしを送ることが出来ます。暑かった夏も過ぎ、心地よい季節になりました。この機会に、大掃除と一緒に木のメンテナンスをしてみてください。

(文・山崎健治)

# 元気一杯！ 笑顔になる野菜

～心も体も元気になって、笑顔になる野菜～

## Lalala PLaNET plus (ラララ・プラネット・プラス)

蓮華寺池公園近くにある無農薬野菜の八百屋です。地元の新鮮でおいしいお野菜、有機野菜や自然農法の野菜を取り扱い、お野菜を中心とした心と体がほっこりするランチも大好評。元気で笑顔になるお野菜を食べに買いに来てください。  
[住所] 藤枝市若王子1-2-34 [Facebook] LalalaPLaNETplus  
[TEL] 090-1985-6285 [Instagram] lalala\_plus.kumi

## 井口彩園さん

Lalala PLaNET plus さんで取り扱っている安心安全な野菜は、どのような農家さんがどのようなこだわりをもってつくっているのでしょうか。採れたての野菜を届けてくださる農家さんの想いをご紹介します。

ファンの多い井口彩園さん。

井口さんの作る野菜は、美味しいのはもちろん、見た目がキレイで包装もひと手間かけてあってオシャレ。レシピ・調味料・ハーブなどが入っているセット野菜もあり、井口さんのこだわりと優しさを感じます。

井口さんの実家は、瀬戸谷に畑がある農家さん。年間20～30品目の野菜を作っています。ハウス栽培もしているので、旬より少し早く季節の野菜を手に入れることができます。日常的な野菜と西洋野菜を作っている井口彩園さんの野菜は、藤枝市内外の多くの飲食店さんで使われています。

『作物を支配せずあくまでも生育を助ける立場』と優しい井口さんらしいこだわり。『肥料過多にならないように野菜は空腹気味に育てている』と話してくれました。『野菜を提供する方、使う方、どちらも野菜を美味しく食べられるよう思いを込めれば、きっと美味しい料理になると思います』井口さんらしい想いです。



### 銀杏の炊き込みご飯

- 1) 銀杏の殻を割り、銀杏を茹でて泡立て器で、ぐるぐるかき混ぜ薄皮をとる。
- 2) ご飯を洗い水にあげて分量より少なめの水を入れ、めんつゆ(もしくは、醤油とみりん)を入れる。
- 3) 人参、鶏肉を入れ、炊き上がる前に舞茸と銀杏を入れて炊きあげる。



### 炒り豆腐

- 1) フライパンに木綿豆腐を入れて、水気がなくなるまで炒める。
- 2) 鶏ひき肉を入れてポロポロになるまで炒め、切った人参、玉ねぎ、干し椎茸、ネギを入れて炒める。
- 3) 油が回ったら干し椎茸の戻し汁を入れて、砂糖、醤油、みりんを入れて煮詰める。
- 4) 汁気がなくなってきたら溶き卵を入れて全体をかき混ぜて卵に火を通して出来上がり。



※優しい味のおかずです。豆腐は水切りしなくても大丈夫です。

# 「コロボ設置店」より...

## こだわりのお店紹介

### 蕎麦処きしがみ



当店は、東海道の丸子宿と岡部宿の間に位置する宇津ノ谷という、四季折々の風景が楽しめる静かな山あいの集落にあります。お召し上がりいただく蕎麦は、全て小麦粉等のつなぎを使わない手打ちの十割そばです。旧東海道の息遣いを感じながら、のどごしさわやかな細打ちの十割そばをお楽しみいただけます。古いまちなみを散策しながら、そばを一枚いかがですか？

### 蕎麦処きしがみ

静岡市駿河区宇津ノ谷232-2  
[TEL] 054-258-5664  
[OPEN] 11:00-14:00(LO.)  
[定休日] 毎週月曜日、第1・3火曜日(祝日は営業し、翌日休業)  
[URL] <http://www.kisigami.com/>  
[SNS] [instagram @10soba.kishigami](https://www.instagram.com/10soba.kishigami)

### 蕎麦処きしがみさんからお知らせ

#### おかげさまで開店20周年を迎えます

2000年の開店当初からご好評いただいております「峠のそば団子」。そばがきの自家製デザートです。そばがきのお団子に、北海道産の小豆を使用して煮たあんこを添えてあります。小豆の他に、ワサビ醤油でもお召し上がりいただけます。そばをお召し上がりのあとにどうぞ！当店の最新情報は、InstagramやFacebookを随時更新しておりますのでどうぞご覧ください。



### 手造りハム工房 昭米



創業1928年(昭和3年)。当初は肉屋・牛乳・家畜商などを生業とし、昭和53年「肉のいわほり」として卸業中心から現在はお弁当や総菜などおのおのお客様にご利用いただけるお店です。当店は地元産の肉のみを使用し、保存料・着色料不使用、水や塩に至るまでこだわり本物のハムの味をご堪能いただけます。昭米でしか味わえないソーセージなどを多数ご用意しています。詳しくはHPまでお願いします。

### 手造りハム工房 昭米

島田市南1丁目5-23  
[TEL] 0547-37-1186  
[OPEN] 9:00-18:00  
[定休日] 日曜日・祝日  
[URL] <https://shoubei.info>

### 昭米さんからお知らせ

#### お肉屋さんの美味しいお弁当・日替わりサービス

定番弁当・平日限定日替わりワンコインランチのごはんは旧大井川町の農家で作られた無農薬・無肥料、有機肥料さえ使わない自然米を使用しています。おかげさまで使われている野菜もできるだけ地元の無農薬のものを選び、すべて原料から調理し、冷凍材料は使用していません。また、焼き豚、ハム、お惣菜など、曜日ごとでお得な日替わりサービス割引デーもございます。詳しくはHPをご覧ください。



# KoKola**b**.

隔月刊 ココラボ通信 No.87  
2020年10月発行

発行人 有限会社ころ木造建築研究所  
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集 … Branch 村上幸枝

印刷所 … 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や  
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は送料として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の造りを行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通して、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

暑い夏が過ぎ、一気に秋がやってきました。今年は体験したことのない特別な月日を過ごし、自粛の中でこれまでの生活、これからの暮らしを考えた方も多いと思います。木の家の心地よさは、長時間家にいると実感でき、優しく守ってもらっているような感覚になります。今回特集した『ラフの家』のOさんも、家にいる時間がとても好きで、外出する事が少なくなったと話していました。お料理したり、薪ストーブを楽しんだり、お掃除も楽しい時間に。丁寧に暮らすという事は、おうち時間を楽しむという事かもしれません。今年も残りわずかとなりました。早くあちこちに出かけられる暮らしに戻事を願いつつも、今回のおうち時間を機に、これからの暮らしについて考えるのも良いですね。(山崎健治)



# Information

## 🏠 島田市『ハチドリの家』完成見学会を行います。

8月上旬に建前を行ったBさんのお宅がよいよ完成です。コンパクトなお宅ではありますが、Bさんのこだわりは素材をはじめ、細部デザインまで広がり、独特の釉薬や窯変タイル、外壁材など、ひとつひとつ実物を確かめながら選択していきました。心地よい風の吹く季節となりました。是非この機会に足を運んでみてください。

◆ 日時：2020年11月下旬(土・日) 10:00~17:00(予約制)

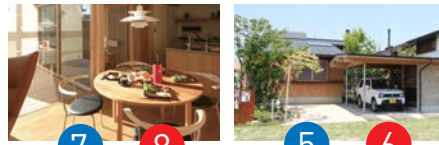
◆ 場所：島田市

※見学会の詳細情報はココラボホームページ [http://www.kokolab.jp] でお知らせします。

※コロナウィルスの影響により、開催の変更がある場合があります。ホームページにてご案内いたします。

## 🏠 こころばの家オープン日

コロナウィルス対策として予約制で行います。  
ご希望の日時をご連絡ください。



11月 7(土) 8(日) 12月 5(土) 6(日)  
10:00~16:00 10:00~16:00

## 🏠 木の家相談会

木の家の仕組み、予算など、  
何でもご相談ください。

◆ 日時：11月7・8日(土・日)  
12月5・6日(土・日)  
10:00~17:00(予約制)

◆ 場所：『こころばの家』

## 『こころばの家』information

『こころばの家』では毎月テーマを決め、ココラボ通信設置店さんなどに協力をいただきながら暮らしにまつわる展示やイベントを行っています。また四季の暮らし方に合わせた木の家暮らしを体験できるみんなの木の家として、様々な企画をしています。

現在ご案内している教室・イベントにつきましては、開催の予定ではありますが、コロナウィルスの影響により中止、または延期になる場合がございます。変更の場合はFacebookとInstagramにてご案内いたしますので、そちらをご確認ください。何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

11月

治療室すずみさん主催

宙~そら~

11月4日(水) 11:30~15:00

そこから見出す素敵ないいもの、おいしいおやつ、特別な一日をお楽しみください。

出店者 「Soine」「おやつ作家 日日、」



motonagaさん主催

水引 workshop

11月27日(金) ①10:30~ ②13:00~

お正月飾りを作ります。制作時間は1時間半~2時間です。

[参加費]3,500円

[申込] info@motonaga.com



12月

無農薬野菜の八百屋&カフェ Lalala ♪ PLANET plusさんの  
Lalala ♪ PLANET plus だ！全員集合だ！

12月2日(水) 10:00~15:00

いつも店頭販売に来てくれるお店さんも、この日は特別に集まって一度にいろんな美味しいものが買えちゃいます。



BREAD Lab conocaさんの

パン教室&パンの販売

★天然酵母で作るパン教室を開催します。

11/17(火)全粒粉バターロール

12/8(火)木の実ドライフルーツパン

[申込] takazou1916@gmail.com

ご希望の開催日5日前までに、お申し込みください。

★月に一度のパンの販売日 11:00~11/13(金)、12/11(金)



◆ 場所：『こころばの家』 島田市東町1370-4

イベントの詳細や今後の展示・イベントなどは、当社Facebook「KoKola**b**.」、instagram「kokolabnoie」でお知らせしていきます。また、見学や体験などについては随時予約を受け付けていきますので、電話やメール、お問合せフォームなどでお気軽にご連絡ください。